

**4月デビュー  
新しいことにチャレンジ!  
おススメ雑誌**

春、学年が上がって大人へ一歩近づく皆さんへ  
そして18歳になり大人の仲間入りをした皆さんへ

普段の生活、ファッション、趣味、etc. 今年の春は新しいことにチャレンジしてみませんか?  
4階一般書のフロアや3階音楽のフロアにある雑誌から中学生や高校生の皆さんでも楽しめる、  
オシャレ～な雰囲気漂う雑誌をチョイスしました!

「なんかちょっと大人になったかも?」な自分をぜひ楽しんでね。

2022年7月号より  
ティーンズコーナーに  
仲間入りました!

**自分を変身させたい!**

**頑張る誰かを応援したい!**

(ジュノン)  
「JUNON」主婦と生活社  
イケメン揃いでまぶしいぜ!  
笑顔で写真に写るのって  
意外と難易度高いよね



**バンドやろーぜ!**

(バックステージ・パス)  
「BACKSTAGE PASS」  
シンコーミュージック・  
エンターテイメント  
推しのアーティストの  
舞台裏情報をGet!  
バンド活動の神髄に迫る



3月号表紙は「Novel Core」  
バックカバーは「ROCTPATH」

**キャンプしよー!**

(ビーパル)  
「BE-PAL」小学館  
薪での焚き火から  
最先端キャンプ道具まで  
楽しみ方満載!



**Enjoy cooking!**

「NHK  
きょうの料理ビギナーズ」  
NHK出版  
きっちり基本から  
自分のペースで  
料理をはじめよう!

**おしろせ**

紹介した雑誌は  
3月1日(水)から  
4月30日(日)まで  
ティーンズコーナーで  
展示中です。  
ほかにもおススメ雑誌を  
あわせて展示中!  
ティーンズコーナーで  
待ってるよ。



(ViVi) 講談社



(キャンキャン) 小学館

編集後記 ティーンズレター第53号はいかがでしたか? 次回は夏頃にお会いしましょう♪

中学生や高校生の皆さんの「コレは知って当たり前★」的の流行り情報を勉強中!  
投稿コーナーへの情報提供はいつもお待ちしております♡ (コロ)

弘前では散った桜の花びらが川を埋め尽くしてとてもきれいな景色が見られるそうで! ←テレビ情報  
いつか実物を見てみたい… (おもち)

2023年3月発行

Teens

Letter

習志野市立中央図書館  
習志野市本大久保 3-8-19  
TEL:047-475-3213  
ホームページ



<https://www.narashino-lib.jp>

ティーンズレター  
VOL.53

春がやってくる



# これを読め♡

3月恒例「これを読め♡」

2022年にティーンズコーナーに仲間入した本の中から担当者イチオシの本をご紹介します！

## 『素敵な空が見えるよ、明日もきっと』

リト@葉っぱ切り絵／著 講談社

かわいい動物たちの物語の一場面を、1枚の葉っぱとカッターで生み出すリト@葉っぱ切り絵さん。これまでの作品の中から“あたたかい気持ちになれる森”“勇気がわいて前向きになれる森”等、7つの森にわけて作品を掲載しています。ぜひあなたの今の気持ちに合った森を訪ねてみてください。



## 『ちいさい世界づくり』 Hanabira工房／著 ワニブックス

緑が這う純喫茶に自分だけの仕事部屋…思わずミニチュアの世界に入りたくなってしまふ、そんな魅力的な作品が多数収録されています。初心者でもできるジオラマとドールハウスの作り方も紹介。細かい作業が好き！または自分だけの世界を作りたい願望のあるあなた、ぜひ挑戦してみましょ！



## 『作ろう！フライドチキンの骨格標本』 志賀 健司／著 緑書房

熱々おいしいフライドチキン、お肉を食べたら骨はごみ箱にポイ！って、ちょっと待った！！その骨をじっくり観察してみよう。

解説編①「つながる骨の歴史」、解説編②「ニワトリの骨を探れ！」で骨について学んだら、ついに工作編「作ってみよう！」で“現生恐竜”の代表「ニワトリ」で骨格標本作り。本格的な作り方が丁寧に紹介されています。

さて、君が食べたのはニワトリのどの部位だったのかな？



## 『地球の果ての歩き方』 地球の歩き方編集部／編集 地球の歩き方

北の果て・南の果てに留まらず、海、空、そして時の果て…。世界で見られるあらゆる“果て”が1冊にぎゅっと収まった冒険心をくすぐるガイドブックです。なかなかお目にかかることのできない風景の数々。地球の果てにはどんな景色が広がっているのか、のぞいてみましょう。



## 『土曜はカフェ・チボリで』 内山 純／著 東京創元社

児童書の出版社に勤める香衣が訪れたのは“カフェ・チボリ”。おいしいデンマーク料理を楽しめるその店は、土曜日しか営業しておらず、おまけに店主は男子高校生というちょっと変わったカフェ。お腹も満たされくつろぐ常連客たちは、身の回りで起こった謎について語り始める…。



## 『名もなき本棚』 三崎 亜記／著 集英社

口当りは軽く、読後に苦みが残る…繰り広げられる物語の展開に思わず引き込まれてしまう不思議で怖くて奇妙な全19編の物語が収録されています。一話が短編小説よりもさらに短い掌編小説で、読書が苦手な方も、隙間時間にちょこちょこ読みがお好きな方にも、飽きずに楽しめるおすすめの本です★



## 『深夜0時の司書見習い』 近江 泉美／著 KADOKAWA

小1の国語の授業でのイヤな出来事をきっかけに、あまり読書をしなくなったアン。高校生になったアンは能天気な父親の一言で2週間、父親が昔お世話になったというお屋敷で過ごすために。ハプニングで疲れ果て、お屋敷のベッドで寝ていたアンは真夜中、おしゃべりするペルシャ猫に摩訶不思議な図書迷宮の司書見習いとして働くよう命じられてしまいます。実はこのお屋敷は図書屋敷とよばれる私立図書館で、図書屋敷と表裏一帯の図書迷宮にはまだ何か秘密があるようで…。

本を読んだ感想に正解や間違いなんてない、自分の心が感じ取ったありのままの心だと気付いていくアンへの成長に共感を覚える作品です。



## 『18歳成人になる前に学ぶ契約とお金の基本ルール』

消費者教育支援センター／監修 旬報社

## 『大人になるってどういうこと？』

神内 聡／著 くもん出版

## 『生きるために必要な「法律」のはなし』

木村 真実／ほか監修 ナツメ社

## 『少年のための少年法入門』

山下 敏雅／ほか監修 旬報社

## 『どうなってるんだろう？子どもの法律』

山下 敏雅／編著 渡辺 雅之／編著 高文研



2022年4月1日「民法の一部を改正する法律」の施行により成人年齢が二十歳から十八歳に引き下げられました。十八歳の誕生日を迎えた人は大人としての権利を得ると同時に、義務と責任が求められるようになり、保護者の承認がなくとも様々な「契約」ができるようになりました。しかし、できることが増えた反面、トラブルに巻き込まれるケースも増えています。自分は大丈夫と思っていても、実際に直面するとパニックに陥ってしまうことも。大人になる前にぜひ知っておいてほしい注意点や実際にトラブルにあった時の相談先が載っている本をご紹介します。